

ジャパン・サマースクール

2008年5月15日、シンガポールのインターコンチネンタルホテルのカフェで日本語補習授業校の校長先生、そして数名の保護者と明德義塾の間で教育懇談会を持つ事ができました。継承言語と言う概念が未だ明德義塾に導入されていない時です。明德側の説明が終わり保護者からの質問が始まりました。

その時1人の保護者からドキッとする質問を受けました。「私の子供はここにいる保護者のお子さんと同学年ですが、日本語の能力には差があります。2人の子供の日本語能力を明德はどのように見極めて指導して頂けるのでしょうか？」この時の私の回答は、「プレメントテストを行い指導します」と言う差しさわりの無い回答をしたと思います。

さて、シンガポールでの懇談会の中で、サマースクールを開催してほしいと言う要望を受けて帰国したものの、プログラムを構築する上で常に気になったのは先の保護者の言葉、「同じ学年であるにも関わらず異なる日本語能力を持つ生徒をどのように指導するのか？」と言う問いでした。

サマースクールは日本語の勉強だけでなく、高知の豊かな自然や歴史に触れ、何より日本を好きになってもらう事が重要です。但し、本来の目的である日本語のスキルアップのために行われる午前中の日本語授業の組み立て次第では自分の日本語力に自信を無くすなど、日本語が嫌いになる可能性もあります。私達は慎重に検討し、日本語能力別に5つのクラスを設定し指導を行うこととしました。

Aクラス：日本語でのあいさつや簡単な動詞を含む文型での会話など、日本語の初歩から学ぶクラス。

Bクラス：動詞の活用・漢字・文章読解など、日本検定試験3級レベルの内容を学ぶクラス。

Cクラス：日本語を母語としている生徒で、国語力が小学4年～5年生レベルの生徒を対象とするクラス。

Dクラス：日本語を母語としている生徒で、国語力が小学5年～中学1年生レベルの生徒を対象とするクラス。

Eクラス：日本語を母語としている生徒で、国語力が中学2年～中学3年生レベルの生徒を対象とするクラス。

以上のような5つのクラス編成にて対応出来たのは、サマースクールは教員が通常の授業を持たない夏休み期間中のプログラムであると言う点につきると言えるでしょう。

然しながら、サマースクールの日本語教育で培ったノウハウが、その後の明德義塾における海外子女教育に反映されて行くことは言うまでもありません。



明るく元気な留学生

一年間留学

さて、今年より北米の現地校に在学しながら明德義塾で1年間学ぶプログラムがスタートします。このプログラムもサマースクール同様、日本語や日本の生活習慣、文化、そして自然に触れる経験をさせたい、したいとの保護者と生徒の声を受けて構築されたプログラムです。以前より明德義塾を卒業することを前提とした1年間留学プログラムはありましたが、プログラムのスタートが4月ということもあり、北米の学期制度には合わないものでした。そのため、今回のプログラムはスタートを9月にし、又北米の現地校が単位制であることに着目し、明德義塾で学んだ内容を現地校で単位として認定してもらうための支援をするものとなっています。


19年間に亘る日本語教育のノウハウに、新たに継承言語としての日本語教育のスキルが加わる中で、ジャパンサマースクールと北米向け1年間留学プログラムは生まれました。

ジャパンサマースクールの日本語教育は今年更に修正が加えられ魅力を増えています。

北米向け1年間留学プログラムにも既に参加希望者が出るなど順調な滑り出しをしています。

明德義塾の第2言語・継承言語としての日本語教育に今後とも注目頂ければ幸いです。

明德義塾中学校・高等学校
〒785-0195 高知県須崎市浦ノ内下中山160
TEL: 088-856-1211 (代) FAX: 088-856-3214
HP: www.meitoku-gijuku.ed.jp E-mail: info@meitoku-gijuku.ed.jp

 明德義塾の全校生の1/3を占める留学生への、第2言語・継承言語としての、長年の日本語・国語指導の紹介です。
その実績と経験を元に、海外子女の保護者の発言をきっかけとして、「ジャパン・サマースクール」「一年間留学」のプログラムが作られました。北米の子ども達にも大きなメリットがあります。
明德義塾のホームページで、詳細をどうぞ。